

本時のねらい

おもちゃの作り方を説明する文章の構成と順序を考えることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・学習支援ソフト（ロイロノート）を使用することで、説明の順序を並び替えることや、「馬のおもちゃ」で学習したことをもとに、テキストを並べ替えたり、写真や動画を入れたりして伝わりやすく説明する工夫を考える。
- ・学習者用端末を大型モニターに接続して発表することによって、児童同士で発表を共有して説明の工夫について理解を深める。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Chromebook
- ・学習支援ソフト（ロイロノート）
- ・大型モニター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (14分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの復習をする。 「説明の工夫にはどんなものがありましたか」 ・学習課題をつかむ。 「順序を考えてわかりやすく説明しよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・前単元でロイロノートを用いて作成したスライドを、教員用端末でモニターに投影する。そのスライドを見返ししながら、順序を表す言葉などの工夫について振り返り、本時の学習課題へとつなげる。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートを用いて、順序を表す言葉に気を付けながら、作り方を説明した文と写真を組み合わせ段落ごとのスライドを作り、順番につなげる。 ①言葉や文を訂正・編集する。 ②写真と文を1つのスライドに合わせる。 ③説明の順番にスライドをつなげる。 ・完成したスライドに題名をつけて提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者用端末を用いることで、言葉の書き換えや付け足し、写真の追加などが容易に行えるので、必要に応じて編集を行いながら、スライドを作成することができる。 ・一枚のスライド内に説明の文と写真を組み合わせて収めるようにする。 ・提出された説明文は教員用端末で内容の確認を行い、言葉や写真の配置などの改善点を伝え、再度修正する。
まとめ (6分)	<ul style="list-style-type: none"> ・完成したスライドを見せながら、説明文を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員用端末で児童が提出した説明文を開き、大型モニターに投影する。児童は自分で作成した説明文のスライドを操作しながら発表する。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子

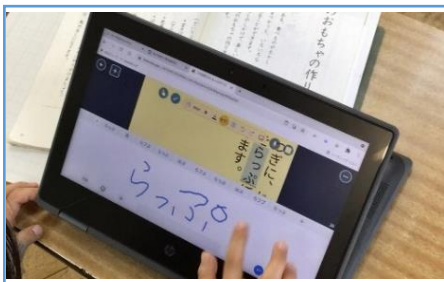


写真1：順序を表す言葉に気を付けて、文の書き換えや付け足しを行う場面



写真2：写真と説明の文を一枚のカードに組み合わせ、つなげている場面

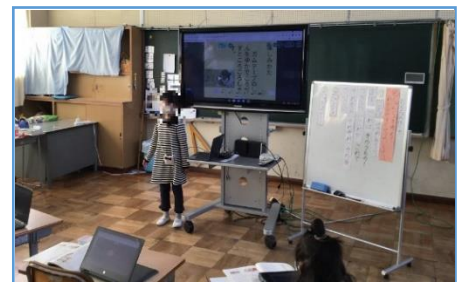


写真3：自分で作成した説明文のスライドをモニターに投影して発表する場面

児童生徒の反応や変容

- ・学習支援ソフト（ロイロノート）で作成することによって編集が容易にできるため、順序を表す言葉を入れたり、詳しくする文を書き加えたりして、よりわかりやすい説明文になるよう何度も書き換えながら考えることができた。
- ・説明文の最後にはおもちゃで遊んでいる様子を撮影した動画も付け加えており、動画を見た児童からは驚きの声があり、その反応を見た発表者も嬉しそうであった。写真だけでなく動画を加えることによって、より分かりやすい説明文になったと感じる。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・文章を構成する際、ロイロノートを使用することで、編集をしやすいという利点がある。また、今回のように段落ごとに分けて作成したスライドを用いることにより、文章の組み立てを考える学習となる。
- ・文に合わせて、写真だけでなく動画も入れてスライドをつくることによって、実際に動いているおもちゃが見られるので、説明を受ける側がより分かりやすい作品ができる。